

また、平成 25 年度においては、小中学校教師が道徳教育に理解を深め、授業力を高めるために、授業改善資料として「道徳教育推進の手引き」を作成・配布予定です。

道徳教育に関する研修については、悉皆研修として、初任者研修及び 10 年経験者研修を実施しています。

初任者研修では事前に道徳の時間の指導の流れを作成し、同じ題材でベテラン教師が行う授業を参観するという講座を実施し、ベテラン教師の指導技術の高さと授業内容の充実さを学び、10 年経験者研修では、大学教授による講話と演習を行っており、最先端の情報を学ぶことで、これまでの自分の授業を振り返り、見つめなおす機会としています。

また、希望者を対象とした研修では、夏季休業中に道徳授業講座を開き、学校現場で中心になって道徳教育を推進している教師や大学教授を講師に、理論と実践を学ぶ機会としています。

今後も学校での道徳教育の推進・充実を図り、魅力的な道徳の授業づくりにむけた研修を実施し、教師の意識向上に努めていきます。

⑦徳・知・体のバランスのとれた指導をよくやっていただいていると思う。

(回答：教育政策課)

教育委員会では、平成 23 年 2 月に熊本市教育振興基本計画を策定し、本市教育が目指す基本的な方針を明らかにしました。

その基本理念である『学びわくわくくまもとの人づくり～徳・知・体の調和のとれた教育都市くまもとを目指して～』のもと、平成 23 年 12 月には、基本計画の実現に向けた施策を計画的に・総合的に実施することをねらいとして、「熊本市教育振興基本計画実施計画」を策定しています。

本実施計画においては、熊本らしい特色ある教育を展開していくため、平成 25 年度までの 3 年間で重点的に取り組む 7 つの「アクションプログラム」と「施策別計画」とで構成し、教育委員会所管の施策だけでなく、全市的に取り組んでいます。

《アクションプログラム》

- 【1】教育都市くまもとの教職員像の実現
- 【2】熊本らしい特色ある教育の推進
- 【3】特別支援教育の充実
- 【4】学校支援体制の充実
- 【5】幼児教育の充実（市立幼稚園の充実）
- 【6】学校規模の適正化、
- 【7】図書館、博物館の充実

⑧きめ細やかな支援や複数の目での子ども理解に向け、副担任・支援員・サポートの先生の更なる配置や充実を願う。

(回答：教職員課・総合支援課)

子どもたちへのきめ細やかな支援は、子どもたちの健やかな成長、人間性の育成のために非常に大切なことであると認識しております。

教育委員会では、市独自で、小学校 3 年生、4 年生、それから中学校 1 年生について、少人数学級（35 人学級）制度を導入しております。なお、小学校 1 年生は国、2 年生は県が 35 人学級としています。

このほか、国の加配制度を利用し、少人数指導加配や T・T 加配など、きめ細やかな学習指導・生徒指導の充実に努めてきているところであり、今後も、その拡充を国及び県教委に対して引き続き要望していきたいと考えています。

また、熊本市立幼稚園及び小中学校の教育活動において支援を要する学級に対しては、児童生徒の安全の確保及び学習環境の改善を目的に、担任の補助となる学級支援員を、全学的な視点に立ち、可能な限り配置しているところです。

2 学力や体力の向上に関して

①三者面談など、受験に対する取り組みや支援が地域で違いがあるのはなぜでしょうか。

(回答：指導課)

進路指導については、将来の夢や目標を見出し、自分の生き方を考えるといったキャリア教育の視点が重要です。

どの学校においても受験等の進路指導については、そのようなキャリア教育の視点を踏まえ、三者面談、進路学習会あるいは二者面談による進路相談、高校説明会など、子どもたちの状況に応じて、工夫しながら行っているところです。

今後も、子どもたちのより良い進路選択につながるよう、進路指導・支援の充実を図っていきます。

②得手不得手を見極め、その子の自信につながる道へ進めるような指導を願う。

(回答：指導課)

少人数指導や T T 指導など、担任以外の教師が関わることによって、複数の目で子どもを見守り指導できる体制・授業形態を構築していくとともに、授業での子どもたち一人ひとりの活躍の場が作れるよう、授業改善資料作成等の取り組みを行っています。

また、学校においては、運動会や卒業式、合唱コンクールに加え、集団で行動する教育キャンプ、水泳や球技などのクラスマッチ、また、文化面では写生大会や学習発表会など多様な活動が行われています。

学校は、子どもたち一人一人が得意な分野で活躍し、みんなからよさが認められるような場として、子どもたち一人ひとりの存在や思いを大切に教育活動の充実に努めています。

→続きは次号で